



校 門 の 坂

山田小学校 学校便り 令和6年度第6号 1月21日発 文責 校長

【山田小学校HP <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1363/> 是非御覧ください！

賢い子を育てたい！

「賢い子を育てたい！」若い頃からずっと思っていました。今もそれを追求しています。なので、賢い子を見ると、「どんな風に考えて、どんな風に学んでいるのか？」という視点で観察してきました。そして分かったことは、私が賢いと感じる子はみんな「いい成績を取るために勉強しているのではない。」「いい点数を取るために勉強しているのではない。」ということです。彼らは、「面白いから聞いている。」「知りたいから読んでいる。」んです。主体性の基になっているのは、**知的好奇心**なのです。我々大人に大切なのは、どうやってこの**知的好奇心**を高めるかです。

復習は、こんなふうにするといいですよ！

ここからは、校長おすすめの家庭学習を紹介したいと思います。今回おすすめするのは、「復習」です。「今日知ったことをもう一回やっとこ！」これは、大人でもよくやることです。仕事を覚えていく上では、とても意味のある学習ですよ。復習習慣は、一生ものの力なのです。

復習する意味は？

復習は学んだ内容を現実の問題に応用する能力を高めます。繰り返し学習することで、情報やスキルをより深く理解し、柔軟に応用できるようになります。これにより、新しい状況や問題に対処する際により効果的に知識を活用することができます。このように復習は学習効果を高め、知識の継続的な活用を支援する重要なプロセスになるのです。人は、忘れる生き物なので、学習したことを忘れないようにと、学級担任が出す宿題は、その多くが復習ということになります。

難しく考えない！

でも、難しく考えてはいけません。例えば、1年生だったら、お母さんが「今日は算数でどんなお勉強したの？」と聞く行為、これにきちんと答えさせることが「復習」です。インプットしたことをアウトプットすることで学習効果は、3倍にも上がります。でも、答えられなくても心配しない。「答えられないこと」に気付いたことが大収穫と考えましょう。少しずつハードルを下げて、「教科書のどこを勉強したか？」「どんなことを覚えているか？」等、お子さんに合わせて、答える力を育てていけばいいと思います。

こんな復習が効果的！

年齢とともに復習の方法は変化させていくことが必要ですが、小学校6年間で次のような復習が、本人の意思と意欲でできるようになることを目指したいですね。

- 今日習ったことを書いたり、話したりすることは良い復習です。授業で書いたことを改めて宅習帳に書き写してみるのもいいと思います。学習した教科書のページを書き写してみるのもいいと思います。とにかくアウトプットする行為が大事です。
- 忘れるタイミングで思い出す行為が大切です。前に習ったことを定期的に復習するのが、効果的な復習です。復習専用ノートを作って、すでに習った漢字を書いたり計算をしたりして、忘れないようにするのは、良い復習方法だと思います。
- 先生から出されたプリントを受動的にやるよりも自分で決めた学習を自分で作った復習ノートにやる方が何倍も学習効果が上がります。前の学年の漢字や計算をするのも効果的です。
- 市販の問題集を自分で選んで取り組むのも良いと思います。ただし選ぶところから自分するのが大事です。与えられたものより自分で選んだものの方が主体的に取り組めます。

